八丈島文化協会　会報　第46号

八丈町三根４８６９－１　八丈島文化協会事務局　Tel／Fax　２－２８３３

HP: http://www.8jobunka.jimdo.com/　e-Mail: bunkakyoukai8jo@yahoo.co.jp

２０２４年 １ 月１２日

2024年　年頭のごあいさつ

八丈島文化協会会長　　山下　和彦

2024年（令和６年）、明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願いいたします。

日頃よりの文化協会事業に対してのご支援に感謝しております。ありがとうございます。

コロナが少しおとなしくなったと思ったらインフルエンザの流行です。気を付けてください。

今年も協会の事業の遂行に努めて参りますが、文化協会活動をもっと多くの方に知ってもらい、そして参加してもらいたい、と思います。会員の他クラブとの交流会等一般の会員の皆様と話ができる機会をつくっていきます。

文化協会に対するご意見をお聞かせください。

新会員紹介
伊豆諸島シネマセンター

伊豆諸島シネマセンターは、映像作家の大澤未来が八丈島と中野区との2拠点生活を始めたことをきっかけに2021年6月に設立しました。現在、島内メンバー4名、内地のメンバー3名、合計7名で活動しています。

メンバーに映画監督2名と音響技術者がいることを活かし、映画館が無い島に「映画鑑賞」の機会を提供するだけでは無く、上映後に島民とコラボレーションを行い、ワークショップ、講座、音楽ライブ、写真展などを開催してきました。今年度は日本離島センターの助成を受け八丈島と青ヶ島に関して過去の映像や写真を各所のアーカイブ機関で発掘し、それを元に八丈島と青ヶ島で「魅力発見講座」を開催しました。また同時に「青ヶ島」の映画制作へのリサーチなど、制作団体としても活動中です。「上映」と「制作」を合わせた活動を通して伊豆諸島の可能性を引き出します。文化協会をより良くする提言も積極的に行っていきます。よろしくお願い致します。

次号会報は、２月９日（金）発行予定

あびの実　映画会
昔懐かし、石原裕次郎の「紅の翼」　2月3日

今回のあびの実映画会は、八丈島老人クラブ連合会の後援を受け、各地域の老人会でアンケートを行い、映画を選定しました。候補５作品の中でもダントツ人気で選ばれたのが、八丈島がロケ地、石原裕次郎主演のこの映画、「紅の翼」です。

殺人犯にハイジャックされたセスナ機。破傷風に苦しむ島の少年の命は？八丈島を舞台に繰り広げられる航空アクション大作「紅の翼」。

シニアだけでなく、熟年世代も子育て世代もＺ世代も、み～んなおじゃりやれ！！

●２月３日（土）　八丈島多目的ホールおじゃれにて
●開演時間 14 時／19 時（2 回上映・93 分。開場は両回とも 30 分前）
●チケット料金：一般 1000 円
　60 歳以上の一般、あびの実会員 500 円、高校生以下無料
　＊未就学児には大人の付き添いが必要です。
●チケット取扱店：八丈書房、周蔵商店、富次朗商店

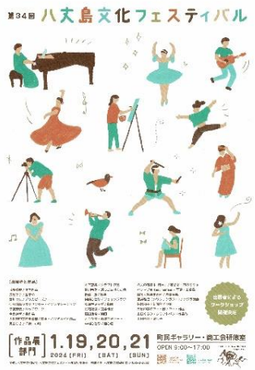
第 34 回八丈島文化フェスティバル作品展　開催
1　月19日（金）～21日（日）　町民ギャラリー・商工会研修

1月 19 日から 21 日まで（9:00～17:00）、文化フェスティバル作品展部門が町民ギャラリー、商工会研修室で開催されます。島の文化と芸術が息づくこの場所で、心躍る作品たちと出会えるとっておきの機会です。

色鮮やかな絵画、情緒豊かな写真、そして心温まる手工芸品など作家たちの創造性が織りなす作品たちは、一つ一つが観る人の心に何かしら語りかけて来ることでしょう。

この作品展は、島の文化芸術を称えると同時に、新たな発見と感動の場でもあります。作家たちの作品を通じて、彼らの情熱を感じてみてください。

ぜひ、島内外の作家たちの力作に出会えるこの機会に会場に足を運んでいただけたら嬉しいです。



＜１～３月のイベント情報＞（協会主催・後援、加盟団体主催・出演など）

協会の主催・後援イベントや加盟団体の活動を中心に掲載しています。詳細は協会のホームページおよび「ＦＡＸ・メール通信」をご覧ください。

○1月19日（金）～21日（日）９：００～１７：００　第 34 回八丈島文化フェスティバル・作品展
町民ギャラリー・商工会研修室
○1月21日（日）１３：００から（１２：３０開場）　日本舞踊檜会第３０回公演　おじゃれホール
○2月　3日（土）１４：００と１９：００から　あびの実映画会「紅の翼」　おじゃれホール
○2月25日（日）１４：００から　八丈島ウィンズフェス　おじゃれホール
○3月16日（土）１２：００から　会員交流会・焼き芋大会　東浦キャンプ場（予定）
○3月19日（火）19：30～・２０日（水・祝）13：30～　島民大学講座　商工会研修室にて

第 34 回文化フェスティバル終わる

第 34 回八丈島文化フェスティバル舞台部門は 10 月 15 日に開催され、無事終了いたしました。高校生以下を含む 512 名のお客様にお越しいただき、その半数以上が午前中にご来場されたお客様で、午後の部は再入場の方がほとんどでした。

お客様からのアンケートを見ると出演団体や実行委員会への応援のメッセージが多く、たくさんの方が文フェスを楽しみにしているのだということを実感いたしました。

来年文フェスは第 35 回を迎えます。この数字が 40、45、50・・・・・・と続けていけるよう、参加者全員で協力しあって運営をしていきたいと思います。

≪出演団体≫ ①三根小子どもアンサンブル ②フラメンコサークル ③八丈太鼓 月曜会 ④Heatup ⑤カレオ オ ラカ イ イアパナ～ カパー フラ オ カウルレファ ⑥音楽教室 Goldbreath ⑦大賀郷中学校音楽部 ⑧八丈民謡保存会(よされ会) ⑨三原エンジョイアンサンブル ⑩檜之扇会 ⑪八丈島Ｓoka 栄光バンド ⑫千田美鈴(ソプラノ独唱) ⑬八丈混声合唱団 ⑭樫立太鼓会 ⑮日本民謡 朝元会 ⑯M-isle Ballet

八丈町文化功労賞を受賞して（以下の３団体・個人が受賞）

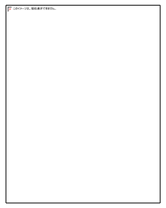
【よされ会】

この度は、栄誉ある功労賞を頂き、誠に光栄に存じます。島のために、私たち自身のために活動することは、この会を設立した時からの目標でもあり、多くのイベント等に参加し活動して来たこと、心より嬉しく思っています。もちろん、この栄誉は、日ごろ、私たちを支えていただく皆さんのお力でもあり、八丈よされ会の会員だけの力ではなく、島外で八丈島を紹介する、東京支部、東京よされ会の会員、皆の協力のおかげだと思っています。

今後は、これまで以上に活動を増やし、文化の継承、観光に対する紹介、文化交流などに努め、引き続き貢献していく所存でございます。今後とも宜しくお願い致します。

よされ会総代表　奥山善男

【コウ･リマ･ナニ･エ】



この度、コウリマナニエは八丈町より文化功労賞を頂きました。

長きに渡り活動を応援してくださっている町長を始め関係者、町民の皆様に厚くお礼申し上げます。2007 年より活動を開始し（2006 年発足）今年で 16 年になります。先日 5 年ぶりに来島したハワイの師匠にも嬉しい報告ができとても喜んでくれました。文化フェスティバルの前座に出して頂いたのがつい昨日の事のように思い出されます。ハワイの師は常々「ハワイの文化を大切に想う気持ちと同じように自国の文化を愛し敬うことが大切」だと言います。

八丈島で活動する私達フラは、島の豊かな自然を感じながら踊る、暮らしの中にあるフラ。今では小学生から年配者まで、男女、幅広い層がフラを楽しんでいます。この先もフラがこの島に調和し根付いていけるよう、活動を続けて行きたいと思います。

ありがとうございました。　　コウリマナニエ　代表　栗田知美

【山田幸也さん】

先日文化功労賞を八丈町から頂戴いたしました。「多年にわたり、八丈島文化協会理事として、本町文化の発展向上に寄与した」ことを評価されました。昭和59年から八丈島に移住定住し、第4回八丈島文化フェスティバルからのお手伝いが事の始まりでした。

島内にはいろいろな芸能文化をお持ちの方が沢山いらっしゃることを知り、発表の機会（ステージ）に参加できたことは個人的にも大変感謝しております。継続は力とよく言われますが、新しい息吹を受け入れることも大切と考えております。

これからもウエルカムの精神でお手伝いできればうれしいです。

あびの実　クリスマス歌声コンサート終わる

12 月 16 日（土）、あびの実第 102 回例会「クリスマス歌声コンサート」を、49 名の参加で楽しく開催できました。

今回はお天気がとても心配でしたが、無事に飛行機が着陸！！　ともしび企画の 3 名の方が来島しました。

クリスマスの小物やイルミネーションでおめかししたおじゃれホールは、平土間にして円卓を置き、ギンガムチェックのテーブルクロスを。あびの実らしい手作りの会場になりました。

会場には、歌声喫茶世代のシニアの皆様はじめ、子ども達 5 名の参加もあり、歌本を見ながら続々とリクエスト曲が集まりました。「高校 3 年生」からスタートし、フォークソングや歌謡曲、ロシア民謡、クリスマスソング・・・懐かしいあの歌この歌を皆で声を合わせて歌い、時には身体を動かし、笑顔いっぱいのホットな 2 時間でした。